



梁高・保高 最後の1ページ

1. 答辞で家族や友人、先生への謝意を述べる松野椎竜さん(梁川高) / 2. 卒業生のメッセージが書かれた桜の前を去り行く卒業生(保原高) / 3. 卒業生を代表し卒業証書を受け取る鈴木晴太さん(梁川高) / 4. 一点を見つめ、卒業の重みを噛み締める(保原高) / 5. 目を閉じ、最後の校歌に想いを込める(梁川高) / 6. 先生方の見送りの中、深々と頭を下げる(保原高)



100 年以上続く公立高校で最後の卒業式

梁川高校と保原高校では、最後の卒業生が慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。卒業したのは、梁川高校24人、保原高校141人です。

梁川高校では、松野椎竜さんが、仲間に恵まれた3年間の思い出を振り返り、「梁川高校の名前がなくなっても母校に変わりはありません。不安な時は友達や先輩を頼って支え合ってください。」と後輩に言葉を贈りました。

保原高校では、厳かな雰囲気の中、卒業生代表の関根海斗さんが「100年の歴史の重みを感じる3年間でした。伊達高校に変わっても、校訓を胸に新たな歴史を作ってください」と答辞を述べました。

新年度から、梁川高校と保原高校が統合され、伊達高校として新たなスタートを切ります。

HOBARA High School

YANAGAWA High School

